

施策番号	1704		
施策名	健康危機に対する安全・安心の確保		
概要	新型インフルエンザをはじめとする感染症や食中毒等の健康危機事案に対し、市内の医療機関等との連携により、迅速かつ的確な予防と蔓延の防止対策を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・医療衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関する 主な分野別計画等			

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1 腸管出血性大腸菌による感染症の発生件数 (件)	b	c	32	42	25	32.0%	e	1.00
2 定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数の 全国比 (%)	c	c	75.8	80.8	69.8	84.2%	d	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価	b	c					e	

2 市民生活実感評価

設問	平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
		評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1 感染症や食中毒等の健康危機に対し、 安全と安心が確保されている。	b	b	76 11.8%	304 47.1%	222 34.4%	32 5.0%	11 1.7%	645	-
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
市民生活実感調査総合評価	b	b							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	C	施策の目的がそれぞれ達成されている
重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	健康危機に対する安全・安心の確保は、市民生活に密接に関わる施策であることから、市民生活実感調査を重視する。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
- c評価以下であり、次の原因が考えられる。

保育施設にて、腸管出血性大腸菌の集団感染事例が生じ、年間発生件数が例年と比較して大幅に増加したことから、客観指標総合評価がc評価になったと考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
- c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業> (令和元年度又は令和2年度新規事業)

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・腸管出血性大腸菌などの感染症や食中毒等の発生に備え、市内の医療機関等との連携により迅速・的確な予防とまん延防止の取組を進める。

・新型コロナウイルス感染症については、府及び市内医療機関等と連携を図り、適切な医療の提供や必要な検査の実施に向けた体制の拡充のほか、徹底的な積極的疫学調査の実施など、感染拡大防止に向けた取組を進める。

・インフルエンザの感染拡大防止のため、予防接種の勧奨、手洗い・うがいの励行等の予防方法について、インターネットや啓発チラシを通して広く市民や関係団体へ周知する。

施策名	1704	健康危機に対する安全・安心の確保
-----	------	------------------

指標名	腸管出血性大腸菌による感染症の発生件数（件）
-----	------------------------

担当課	医療衛生企画課	連絡先	746-7200
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

○111, ○157等の腸管出血性大腸菌による感染症発生件数

2 指標の意味

感染症の発生状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：各年度の発生件数の合計
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	
数値	32	42	10件増	25	過去5年間の最低値（平成27年度，平成29年度）	32.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考
(参考：過去5年の発生件数)
平成26年度：35件
平成27年度：25件
平成28年度：30件
平成29年度：25件
平成30年度：32件

5 評価基準

最新の数値が過去5年間の
a：最低値未満
b：最低値以上～下中間値（最低値と平均値の間）未満
c：下中間値以上～平均値未満
d：平均値以上～上中間値（平均値と最高値の間）未満
e：上中間以上

6 基準説明

過去5年間の数値を基に，過去5年間最低値未満をa，平均値未満をcとし，最高値も含めた按分で基準を設定した。
最低値：25件（平成27年度，平成29年度）
平均値：29.4件
最高値：35件（平成26年度）

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
b	c	e

指標名	定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数の全国比（%）
-----	-----------------------------

担当課	医療衛生企画課	連絡先	746-7200
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

インフルエンザの流行発生状況の指標となる定点当たり報告数の全国比

2 指標の意味

感染症の発生状況

3 算出方法・出典等

算出方法：本市の定点医療機関当たり報告数（年間）/全国の定点医療機関当たり報告数（年間）

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	
数値	75.8	80.8	5.0ポイント増	69.8	過去5年間の最低値（平成26年度）	84.2%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考
(令和元年度)
本市の定点医療機関当たり報告数：175.9件
全国の定点医療機関当たり報告数：217.8件
(参考：過去5年の比率)
平成26年度：69.8%
平成27年度：87.8%
平成28年度：70.4%
平成29年度：76.3%
平成30年度：75.8%

5 評価基準

最新の数値が過去5年間の
a：最低値未満
b：最低値以上～下中間値（最低値と平均値の間）未満
c：下中間値以上～平均値未満
d：平均値以上～上中間値（平均値と最高値の間）未満
e：上中間以上

6 基準説明

過去5年間の数値を基に，過去5年間最低値未満をa，平均値未満をcとし，最高値も含めた按分で基準を設定した。
最低値：69.8%（平成26年度）
平均値：76.0%
最高値：87.8%（平成27年度）

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
c	c	d